

コストダウンのメインは 「人件費の削減」なのか!?

2020年度3月期末決算では、単体の人件費は3,888億円(対前年比▲555億円)となり、その要因が「賞与の減▲428億円・社員数の減▲65億円」となりました。しかし、一方では潤沢な資金が回っています。

金融機関と外国法人への株主配当に回る資金

JR東日本の株主は、約40%が金融機関、約30%が海外法人で、この5年間は剰余金から順調に株主配当を行ってきました。

【期末決算】	【配当金】(中間+期末)	【支払額】
2017年3月期	130円 (65円+65円)	507億8,100万円
2018年3月期	140円 (70円+70円)	522億6,300万円
2019年3月期	140円 (70円+70円)	555億8,500万円
2020年3月期	165円 (82.5円+82.5円)	597億6,400万円
2021年3月期	100円 (50円+50円)	500億円

成長投資は増額 ↗ ・ 維持更新投資は減額 ↘

社員には「5,779億円の赤字」と強調していますが、2025年までの設備投資総額は+1,380億円の3兆8,880億円となっており、「品川開発プロジェクト」等での成長投資には+3,880億円の1兆8,280億円、車両・耐震・ホームドア等の維持更新投資は▲1,250億円の1兆7,850億円となっています。

**社員・株主・お客さまに
平等に還元するべきだ!**